

(科目コード : 2001220005JJ)

【改訂】第19版(2015-03-04)

【科目】社会政策

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修

【学期・単位数】前期・1単位

【対象学科・専攻】電子情報 5年

【担当教員】加藤 健

【授業目標】

社会政策・社会保障制度の基本的な仕組みを理解することができる。
社会政策・社会保障制度に関する発想やその意義を歴史的に考察することができる。
現在の社会政策・社会保障制度の問題点を指摘することができる。
今後の社会政策・社会保障制度のあり方に対して自分の意見を構築することができる。

【教育方針・授業概要】

- ・本科目の総授業時間数は22.5時間である。
- ・人は、生きていく上で常に健康で順調であるとは限らない。例えば疾病、ケガ、障害、失業、老齢といった様々な危機に直面する可能性がある。このような状況を個人や家族のみで解消できない場合に、どのような社会的な政策や制度を設計する必要があるだろうか。
- ・講義では、時事問題を適宜取り上げながら、社会政策・社会保障に関する基礎的・基本的な事柄について検討していく。

【教科書・教材・参考書等】

教科書は指定しない。

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

講義形式で進める。

【メッセージ】

毎回の講義で取り上げるトピックについて、皆さん自身で積極的に考えたり調べたりしてほしい。

【成績評価方法】

[前期]中間試験：40%，期末試験：40%，課題点（感想文、レポートなど）：20%

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	日本や欧米の社会政策・社会保障に関する発想を歴史的に掘り下げて考察することができる。	50 %	中間試験20%、定期試験20%、レポートなど10%の割合で評価する。
2	実際に機能している制度の仕組みやその問題点について理解し、今後の社会政策の在り方について自分の意見を構築することができる。	50 %	中間試験20%、定期試験20%、レポートなど10%の割合で評価する。

【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。

【授業計画】(社会政策)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	イントロダクション	・社会政策、社会保障 ・社会保険	感想文	
第2回～第3回	雇用・労働問題	・労働政策、労使関係、賃金 ・労働災害 ・雇用保険		
第4回～第5回	家族・育児・公共支援	・家族の役割 ・女性の社会進出と育児		
第6回～第7回	社会政策、社会保障制度の歴史	・社会政策、社会保障のあゆみ		
第8回	中間試験			
第9回～第11回	格差・貧困問題	・貧困 ・生活保護、生活扶助制度		
第12回～第15回	高齢社会と社会保障	・医療問題 ・年金問題 ・介護問題	レポート	